

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	英語Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 火4,水1	教室名	1002
担 当 教 員	Kevin Ryujiin	実務経験とその関連資格	TESOL(英語教授に関する資格)を取得、2009年以降中学・高等学校や英会話教室にて英語教授に携わってきた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>医療の現場で患者対応の際に必要な基礎知識と英語コミュニケーションを学ぶ。 医療英語コミュニケーションの教科書を使用し、医療の現場における患者との基礎的な英会話をペアワーク、グループワーク、グループディスカッション等のアクティビティを通じて学習する。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>1. 定期試験:60% 2. 小テスト:40%</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「医療英語コミュニケーション」医療・福祉英語検定協会						
《授業外における学習方法》						
<p>授業を受けるにあたり、1年次に学んだ基礎英語をしっかりと復習しておきましょう。 授業前の予習、授業後の復習を行いましょ。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 1年次に学んだ知識を活かしつつ、医療現場で様々な対応ができるよう、しっかりと練習しましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	受付に必要なあいさつができるようになる。	医療英語コミュニケーション	1年次に学んだ基礎英語の復習をしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、あいさつと手順、プレテスト Chapter 1 pp7 受付業務に関する表現(単語)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	受付、患者役それぞれの立場で会話ができるようになる。	Speak Now	教科書p.6-10を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	pp 6-10 - 病院受付の続き、ロールプレイ-受付係/患者			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	症状や診療各科の英単語を覚える。	医療英語コミュニケーション	教科書p.12-13を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	pp 12-13 -場所と方向。症状や診療各科の名称			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	病院内のそれぞれの科への案内ができるようになる。	医療英語コミュニケーション	教科書p.14-17を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	pp 14-17 -場所と方向。症状や診療各科の名称つづき			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	体の部位、症状に関する英単語、イディオムを覚える	医療英語コミュニケーション	教科書p.18-22を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	pp 18-22 -体の部分と痛みに関する表現。現在完了の期間に関する表現方法。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	I feel, I have等を用いて症状を表現できるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.24-26を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 24-26 - 病状 I。I feel, I have等を用いて熱、吐き気等の基本的な症状についての表現を学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の症状を尋ねられるようになる。	医療英語コミュニケーション	教科書p.26-28を事前に読んでおくこと。中間試験の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	pp 26-28 - 症状 II。症状に関する尋ね方尋ねる。中間試験前の復習。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	過去のできごとについて述べられるようになる	医療英語コミュニケーション	中間試験対策を行う。
		各コマにおける授業予定	中間試験 過去形や、過去進行形について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護師、患者役に分かれた問診に関するコミュニケーションが取れるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.31-33を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 31-33 - 問診。症状や、家族の既往歴、病気について話し合う。ロールプレイ-看護師/患者		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の習慣や行動について尋ねられるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.37-39を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 37-39 - 習慣と行動 I。頻度に関する表現を使用し、生活習慣や薬の投与薬について尋ねる。現在の健康状態に関して尋ねたり答えたりする。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康診断に関する会話ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.40-41を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 40-41 - 習慣と行動 II(続き)。健康診断に関する質問と答え方を学ぶ。臓器について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者へ指示を出す表現を覚える	医療英語コミュニケーション	教科書p.42-45を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 42-45 - 内科。測定や、診療時の患者への指示方法に関して学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインなど測定時の会話ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.44-45を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 44-45 - バイタルサインと測定する時の単位について学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	看護師、患者役それぞれのバイタル測定時の会話ができるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書p.48-49を事前に読んでおくこと
		各コマにおける授業予定	pp 48-49 - バイタルサイン続き。ロールプレイ-看護師/患者		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	学期末試験の復習が自宅でもできるようになる	医療英語コミュニケーション	教科書(学んだ範囲)の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	学期末・総復習を行う。		